



察度王歴史絵巻行列に参加する市議会議員

8月2日、3日に開催された「第37回宜野湾はごろも祭り」は2日間で約14万5,000人の観客が来場し、大盛況のうちに終了しました。本市議会からも、議長を初め14人の議員が実行委員として参加しております。

ぎのわん 第92号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411 (内337)
印刷 合同会社正美堂印刷所



本会議場での議案審査風景

定例会の経過

6月	4日	議会運営委員会
	6日	会期の決定、案件上程、説明
	10日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	11、12日	各常任委員会議案審査
	16日	議会運営委員会
	16~19日	一般質問(質問者19名)
	17日	議会改革に関する調査特別委員会
	20日	各常任委員会の審査報告及び表決

政務活動費を月額1万円から2万円へ増額
全会一致で可決!!(平成26年10月分より)

6月 定例会 会期 6月6日~6月20日

第383回宜野湾市議会定例会は、6月6日から6月20日までの15日間の会期で開かれました。

今定例会は、一般会計補正予算(第1号)や市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例のほか、市道の認定及び廃止について、教育委員の任命を含む25件にわたる議案等が審議され、19名の議員による一般質問も行われました。

6月定例会
主な議案の審議経過

一般会計補正予算(第1号)

可決

予算の内容は、安心こども基金保育所緊急整備事業補助金及び緊急雇用創出事業臨時特例交付金を含む総額一億七千五百三十一万円を追加補正するものである。

委員会審査では、緊急雇用対策の地域人づくり事業がIT分野に集中している理由について質疑がなされ、事業選定は県の事業採択結果によるものであるが、市としては介護や環境対策分野の提案もを行っているとの答弁がなされた。

また、固定資産税過誤納還付補てん金約六百万円については、平成十一年度の税制改正に伴い、非課税適用すべき建物が課税されたままであったため、地方税法に基づく還付が不能となった分を補填金として支払うためであるとの説明がなされた。

委員からは、税に対する市民の信頼回復に向け、全ての固定資産税を対象に見直しを図るべきとの提言がなされた。本会議の表決に当たっては、全会一致で原案可決された。

市道の認定・廃止

可決

民間の開発行為により設置された開発道路の認定や佐真下第二土地区画整理地内の都市計画道路(湧橋線)に関する路線の市道認定及び廃止を行い、また、市道宜野湾十一号に関しては二区間を統合するために新たに市道を認定し、それに伴い現行の路線を廃止する内容である。

委員会審査では、市道宜野湾十一号の終点の佐真下公園前交差点への接続について質疑がなされ、市としても実施設計の中で当該交差点への接続を検討したいとの答弁があり、本二件については全会一致でそれぞれ原案可決された。



(現地踏査) 我如古・真栗原2号(湧橋線)

教育委員の選任

同意

教育委員会委員の宮城典子氏及び島崎映子氏の任期満了(平成二十六年六月三十日)に伴い、平良明子氏、諸喜田徹氏を後任とする人事案件が定例会最終日に提案され、それぞれ全会一致で選任同意された。



平良 明子 氏



諸喜田 徹 氏

政務活動費の交付に関する
条例の一部改正

可決

議案の内容は、政務活動費について、地方自治法の改正による使途拡大及び社会情勢の変化への対応並びに県内他市との均衡を図るため、月額一万円を二万円に増額する内容である。

提案に至った経緯については、平成二十五年十二月二十五日に議長から市長へ政務活

動費の改定についての依頼があり、その後、二回の特別職報酬等審議会の協議を経て、答申がなされ、今回の改正額での提案となっているとの説明がなされた。

宜野湾市議会を代表して、一言御挨拶を申し上げます。市民の皆様には、日頃より市議会活動に対する多大なる御理解御協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

私も、平成二十二年九月から今日まで、『市民が主役の「ねたて」の都市(まち)・ぎのわん』を標榜したまちづくりを目指し、行政と議会、そして市民の皆様とともに邁進してまいりました。

第三八二回臨時会の経過

五月二十六日に開かれた臨時会は、市税条例及び国民健康保険税条例に関する専決処分承認、国民健康保険特別会計補正予算(第一号)など、五件の議案及び一件の報告が提案された。

二件の専決処分の承認については、専決処分のあり方や軽自動車税率改正に伴う影響など、多くの質疑がなされ、賛成多数によりそれぞれ承認された。

また、そのほかの議案については、全会一致で可決された。

臨時会における契約案件

契約名
(仮称)伊利原老人福祉センター 新築工事(建築)の請負契約
契約の相手方
東建設株式会社
契約金額
1億5,775万5,600円

本市西海岸地域におきましては、中長期滞在型宿泊施設、大型商業店舗が次々と開業され、まさに観光リゾート地域として目覚ましい発展を遂げております。

そのような中、米軍基地普天間飛行場の危険性除去及び早期返還を最重要課題とし、その推進に全力を傾注し、市民の皆様が未来の宜野湾市へ思いを描けるよう努めてまいりましたが、今日まで普天間飛行場の危険性除去及び早期返還は、混迷を深めるばかりであります。今後とも市民の生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る観点から、行動してまいりたいと存じます。

なお、昨年は台湾との親善を図る目的で、台湾友好議員連盟を設立しました。今後はより一層交流を深めていき、宜野湾市の情報発信や議員の資質向上が図られることと思われま

さて、地方財政は今なお厳しい状況であります。このような状況下だからこそ、市議会が果たす役割が一層重大なものになると考え、議会改革を進める中で議会基本条例の制定に向け動き出したところでございます。これからの議会のあり方を示すものとして期待するところであります。

議員在任中は、市民の皆様並びに関係各位、市当局の御協力により重責を果たすことができましたことに對しまして、心から感謝申し上げます。

結びに当たり、本市の一層の繁栄と躍進、市民の皆様のごさらなる御健勝、御多幸を祈念申し上げ、退任の御挨拶と致します。
平成二十六年九月

退任のあいさつ

宜野湾市議会議長 吳屋 勉
副議長 大城政利

一般質問

今定例会は、19名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 佐喜眞 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 玉城 勝秀
- 水道事業管理者 外間 伸儀
- 総務部長 知名 朝祐
- 企画部長 和田 敬悟
- 基地政策部長 伊佐 徳光
- 福祉推進部長 國吉 秀子
- 健康推進部長 喜舎場 宏
- 市民経済部長 米須 清盛
- 建設部長 黒澤 伸行
- 教育部長 宮城 光徳
- 指導部長 石川 正信
- 消防長 浜川 秀雄

育英会事業の運用について



比嘉康康議員

◎議員 平成二十六年度は貸付準備金として四千万六千円を予算計上しているが、年間何名程度の貸与件数を想定しているのか、伺いたい。

◎教育部長 県外貸与者を前提とし、新規貸与者は約二十名程度、継続貸与者を含めると約四十名程度であれば、将来に向けて安定した奨学金貸与制度の運営が可能だと考えている。

◎議員 宜野湾市は貸与事業の活用が少な過ぎると思うが、原因はどこにあるのか。

◎教育部長 本市の育英会事業の活用率が低い原因は、貸与額が低く、支給開始時期が遅い。また、他の奨学金との併用ができないことなど、市民ニーズと現在の制度との乖離が原因だと分析している。

◎議員 入学金や準備金としての活用や重複貸与できるような制度を見直してはどうか。
◎教育部長 他市町村の貸与制度や運用基準等についても今後、調査研究を行い、改善に向けて鋭意努力したい。

西普天間住宅地区の地権者の意向について



喜舎場保議員

◎議員 居住区、商業区の面積が小さいという意見についてどのように考えているか。

◎基地政策部長 昨年度のアンケート意向調査結果を踏まえ、約十ヘクタール設定しているが、引き続き意向調査等を実施し、検討したい。

◎議員 普天間飛行場に比べ、西普天間住宅地区の固定資産税は高く、買い取り単価は安いと思うが、いかがか。



キャンブ瑞慶覧(西普天間住宅地区) 土地利用計画(修正案)

◎基地政策部長 平成二十三年度に本市が土地の先行取得を実施したときは、西普天間住宅地区の方が固定資産税の評価も高く、買い取り単価も高かった。その後の三年間で普天間飛行場の買い取り単価が西普天間住宅地区に比べ、高くなったと考える。

◎議員 この土地は、戦後、強制接収された経緯があり、固定資産税の評価が高く、買い取り単価が安いと地権者は納得しない。固定資産税の見直しや買い取り単価について地権者が不利益にならないよう配慮してほしい。

学校給食費の滞りに係る会計処理について



上地安之議員

◎議員 学校給食費の滞りに係る徴収体制の整備と児童手当からの徴収についての進捗状況を伺いたい。

◎指導部長 給食費の未納、滞納整理に関する指導や責任体制の確立等は急務であることから、三月に意見交換会を開催し、情報収集を行った。また、給食費未納対策基本方針を作成後、七月の学校給食センター運営委員会及び定例

就学援助のあり方について



桃原功議員

◎議員 就学援助制度について、二十二都道府県の約千七百六十八市町村のうち七十一市町村が、今年度から援助対象を縮小していくことが文科省のアンケート調査で分かったと新聞に掲載があった。その中に本市もあり、昨年の生活保護基準額が引き下げられたことが影響しているところがあるが、就学援助を縮小していくのは事実なのか伺いたい。

◎指導部長 教育委員会としては、就学援助制度の認定、否認定に係る査定において、生活保護基準額を参照するが見直しによって、援助が縮小されるということはない。
◎議員 就学援助が縮小されることはないとのことだが、なぜ文科省の調査と異なるのか。

◎指導部長 就学援助実施状況調査の項目の中で誤回答があったため、市民の皆様及び関係者の方々に不安を与えたことに対し、お詫びします。
◎議員 今後、市民に不安を与えないようお願いしたい。

教育委員会に諮る予定となっている。基本方針の中で、各関係部署の役割を明確化し、滞納整理に係る事務の整備、給食費の未納及び滞納の解消に向けて取り組んでいきたい。さらに、児童手当からの徴収については、四月に関係部署と協議し、六月の定例校長会で概要説明を行った。今後はシステム整備を進めながら、来年二月をめどに実施したい。
◎議員 これまでも同様の質問を行ってきたので、大きな期待をしている。具体的な実施に向けて取り組めるよう頑張ってください。

普天間高校の移設について



玉元一恵議員

◎議員 現在の普天間高校の面積、在校生の数、生徒一人当たりの平米、県立高校の中で何番目の広さか伺いたい。

◎企画部長 普天間高校は県立の施設のため、面積や在校生数等について把握はしていないが、県立高校六十校のうち五十六番目の大きさだと聞いている。

◎議員 普天間高校は敷地面積が小さく、校門入口も狭隘

だが、災害時には避難指定箇所になっているのか。

◎総務部長 本市においては、災害時における避難箇所ではない。ただ、県のほうでは、国民の保護に関する避難施設として指定している。

◎議員 多くの方々が普天間高校の移設を望んでおり、一万八千人近くの署名付き要望書を市長へ提出された」と聞いたが、市としてはどのように働きかけていくのか伺いたい。

◎企画部長 沖縄県教育長、沖縄県知事及び本市で協議に入っており、移設の方向で検討していきたいと考えている。

◎議員 普天間高校の開設は現時点で検討していない。

◎議員 当該市道の開通までに時間を要することから、児童生徒の安全のためにも、宜野湾区内の市道について安全対策を講じていただけないか。

◎建設部長 当区内の市道は、区画線等の設置がされており、今後も交通安全対策に関しては、市民経済部と連携を図りながら対応してまいりたい。

◎議員 当該市道の歩道は、片側設置の上に狭隘のため大変

危険である。歩道の両側設置や拡幅をしていただけないか。

◎建設部長 当該市道の歩道整備は、民地側に設置することで進められており、米軍フ

エンス側への設置は現時点で検討していない。

市道宜野湾11号の進捗状況について



宮城勝子議員

◎議員 宜野湾区内の安全面から当該市道の整備を早目に実施していただけないか。

◎建設部長 現在、沖縄防衛局が進めている巡回道路建設とフェンスの移設工事の完了後に当該市道の工事着手となるため、移設工事等を早目に完了するよう沖縄防衛局へ働きかけを行ってまいりたい。

◎議員 当該市道の歩道は、片側設置の上に狭隘のため大変

危険である。歩道の両側設置や拡幅をしていただけないか。

◎建設部長 当該市道の歩道整備は、民地側に設置することで進められており、米軍フ

エンス側への設置は現時点で検討していない。

嘉数高台の平和ガイド養成について



伊波秀男議員

◎議員 嘉数高台での戦闘やトーチカ等について、説明をする方によって内容に違いがある。そこで、説明内容を統一したガイドブックを作成していただきたいが、いかがか。

◎企画部長 新たなパンフレットについては、平成二十二年に嘉数高台公園内戦跡等周辺整備事業で作成した説明文等を引用し、内容の充実を図れるよう、関係部署と検討し

てまいりたい。

◎議員 平和ガイドの育成については、いかがか。

◎企画部長 戦争体験者が高齢化する中、沖縄戦の体験を後世に伝えることは急務であると認識している。人材確保等も含め、関係部署と連携を図りながら調査、研究をしてまいりたい。

◎議員 戦争体験を風化させることなく後世に伝えるためにも、嘉数高台の平和ガイドの養成と説明内容を統一したガイドブックの作成をぜひともお願いしたい。



先の戦争で使用されたトーチカ(嘉数高台公園内)

性別で分けない名簿の実施状況と導入について



厚良千枝美議員

◎議員 本市における当該名簿の実施状況をお伺いしたい。

◎指導部長 平成二十六年六月現在、九小学校と四中学校において、性別で分けない名簿を使用している学年、学級はないが、幼稚園については、三園で当該名簿を導入している。

◎議員 当該名簿の導入に対する本市の御見解をお伺いしたい。

◎市長 県と取り組んでいる普天間飛行場跡地利用計画の中で、市としての取り組み方針を検討してまいりたい。

◎議員 普天間地域にバス営業所を設け、交通の利便性を図るべきと考えるかがどうか。

◎市民経済部長 西普天間住宅地区の返還後は、多くの企業や施設が立地し、人の流れが多くなることから予想されるため、将来的には関係団体やバス企業との調整が必要になると考えている。

◎議員 軌道交通の導入は時間がかかるため、バス交通も含めて研究していただきたい。

本市の公共交通について



仲村春松議員

◎議員 本市への軌道交通の導入に向けて、今後どのような取り組みを行うのか。

◎企画部長 普天間飛行場の返還時期や国、県の調査等の進捗も見据えながら、今後さらに検討してまいりたい。

◎議員 朝夕の慢性的な交通渋滞の解消に向け、モノレールの延伸や路面電車の導入に取り組むべきと考えるが、市長の見解をお聞きしたい。

◎議員 当該名簿の導入については、学校長を中心に判断されるものと考えているが、教育委員会としても、議論等の推移を見ながら、一緒に検討してまいりたい。

◎市長 本来あるべき道徳観の中で男女間に差別がなく、また、男女共同参画できるような宜野湾市づくりについて教育委員会と連携し、検討してまいりたい。

◎議員 子供のころからの平等教育は大事なことであり、そのための取り組みの一つとして、ぜひ性別で分けない名簿を導入していただきたい。

普天間地域内における未整備の都市計画道路について



○議員 昭和三十二年に都市計画の決定をされてから既に四十六年が経過しているが、東本町通り線、普天間・野嵩線はいつごろ着手される予定か。

○議員 本市の都市計画道路における未着手路線の本数及び路線名をお伺いしたい。

○建設部長 普天間・野嵩線については、普天間高校の移転に伴う密集市街地の改善に係る道路ネットワークの変更等も踏まえ、また財政状況も勘案しながら検討してまいります。なお、東本町通り線も同様に考えています。

○議員 いまだに未着手である理由をお伺いしたい。

○議員 ぜひしっかりと取り組んでいただきたい。

○建設部長 住民との合意形成の問題や財源調整の関係等

○議員 普天間・野嵩線

○議員 普天間・野嵩線



早期整備が待たれる東本町通り線

児童生徒の県外派遣等に関する補助基準について



○議員 当該補助基準に係る運動競技については、中体連主催のみ派遣となっているが、その根拠について伺いたい。

○議員 当該補助基準の第二条で、文化活動は教育長が判断することもあるとのことであるが、運動競技においても父母の負担軽減や幅広い教育の底上げを目的に、教育長判断による派遣もぜひ検討していただきたいが、いかがか。

○指導部長 平成十三年に通知のあった全国都道府県体育・保健・給食主管課長協議会、財団法人全国高等学校体育連盟、財団法人日本中学校体育連盟及び全国連合小学校校長会による申し合わせ事項に基づき行っている。

○議員 真志喜中学校女子サッカー部の全国大会への派遣についても補助を約束していただきたいが、いかがか。

○指導部長 予算額も考慮しながら、補助対象とするよう対応してまいります。

○議員 現在、市内の中学校で、大学生をコーチもしくは指導員として活用している部活動があるか伺いたい。

○議員 いろいろな角度から精査をし、取り組みに向けてぜひ検討をお願いしたい。

スポーツインターンシップ事業について



○指導部長 近郊の大学生が部活動に積極的にかかわると部活動の活性化や教職員の負担軽減につながることも十分に考えられ、有意義なことではあるが、実施に当たっては各中学校の状況や大学側、個々の大学生の対応が可能かどうかの判断が重要になってくるため、各中学校の校長等や大学側への情報収集を行ってまいります。

○議員 いろいろな角度から精査をし、取り組みに向けてぜひ検討をお願いしたい。

○議員 いろいろな角度から精査をし、取り組みに向けてぜひ検討をお願いしたい。

○議員 いろいろな角度から精査をし、取り組みに向けてぜひ検討をお願いしたい。

○議員 いろいろな角度から精査をし、取り組みに向けてぜひ検討をお願いしたい。

子ども・子育て支援新制度について



○議員 現在の待機児童数についてお聞きしたい。

○議員 認可外保育施設への運営補助事業の内容についてお聞きしたい。

○福祉推進部長 ゼロ歳児が二十二名、一歳児が百六十三名、二歳児が七十七名、三歳児が五十五名、四歳児が十名、五歳児が六名で、トータルで三百三十三名となっている。

○議員 今後の解消見込み数及び方法について伺いたい。

○福祉推進部長 今年度の保育園創設や増改築により百七

○議員 幼稚園の二年保育など、地域に合った教育、保育制度が根づくよう願っている。



宜野湾市子ども・子育て会議 (8月19日開催)

愛善保育園への 進入路の整備について



佐喜真進議員

◎議員 当該進入路の整備に至った経緯をお伺いしたい。

◎建設部長 まず、自治会と保育園が地権者から土地の使用承諾を得て、その後自治会から市に対し、アスファルト資材の提供申請があり、それに基づき市から保育園に資材を提供し、保育園が舗装整備を行ったものである。

◎議員 地権者が了解した上で、市が資材を提供し、保育

園が工事費を持ったとのことだが、現場確認をしたところ側溝の取りつけがされておらず、今後取りつけを予定しているのか、お伺いしたい。

◎建設部長 当該進入路は私道のため、市による側溝の整備はできないが、大雨による低い宅地への侵入や道路冠水のおそれがある場合には、市の維持管理費内で対応してまいりたい。

◎議員 側溝の整備等についても地権者の了解が得られるかと思うので、その際は、維持管理費内で整備をお願いしたい。



舗装後も側溝整備の要望がある愛善保育園への進入路

がん予防対策 について



岸本一徳議員

◎議員 本市のがん検診の受診率とがんによる死亡者数の推移について伺いたい。

◎健康推進部長 過去十年間の受診率の推移について、子宮頸がん、乳がん検診は二〇%前後で推移し、胃がん検診は一五%、肺がん検診は約三〇%から一六%へ、大腸がん検診は二〇%から一五%へ低下している状況である。また、がんによる死亡者数は、子宮

がん、卵巣がん、乳がんは年間十人以下、胃がんは十五人前後、大腸がんは二十人前後、肺がんは三十人から四十人程度まで伸びている状況である。

◎議員 受診率の目標達成に向け、本格的に取り組む必要があると考えるが、いかがか。

◎健康推進部長 自治会等にも協力を呼びかけ、受診勧奨を強力に進めてまいりたい。

福寿園の民営化 に伴う愛育園の 移転について



森田進議員

◎議員 愛育園は、福寿園の民営化により移転を余儀なくされているが、その移転場所について、現在の状況を伺いたい。

◎福祉推進部長 愛育園については、福寿園の民営化実施計画に伴い、旧デイサービスセンターでの使用許可を九月までとしている。現時点で移

転先のめどは立っていないが、遅くとも今年度中には移転を

都市計画道路3-4-71号 普天間線の早期着工 について



呉屋等議員

◎議員 昨年実施されたアンケート調査によると、約九割の方が賛成されているとのことであるが、ことし予定されていた国への概算要望は提出されたのか、伺いたい。

◎建設部長 平成二十七年度の概算要望は、五月下旬に県へ提出しており、測量、詳細設計、物件調査業務で約二十万円を要望している。

◎議員 今後の予定及び道路

完成後の当該地域の位置づけについても伺いたい。

◎建設部長 平成二十七年度は測量、詳細設計、物件調査を行う予定であり、二十八年度から数年かけて物件補償、用地買収を行い、その後の工事にも数年かかる見込みである。また、アンケートの結果、道路完成後も同じ場所で開催したいとの意見も多数あることから、事業者の皆様が営業できるように基盤整備に努めてまいりたい。

◎議員 当該道路の完成は長年の懸案事項のため、今後もしっかり進めていただきたい。



都市計画道路 3-4-71号普天間線(万年通り側)

小中学校施設 の環境整備 について



知念吉男議員

◎議員 築年数の長い志真志小、普天間小、普天間中は建てかえの計画があると思うが、事業開始年度等について伺いたい。

◎教育部長 志真志小及び幼稚園は、平成二十七年に基本・実施設計、二十八年度から二十九年度に幼稚園舎及び体育館の建てかえ工事を行い、二十九年度から三十年度に校舎の建てかえ工事を計画

重度の心身障がい児 に対する支援の あり方について



宮城克議員

◎議員 旧真栄原新町地区に、防衛省補助を活用した(仮称)総合保健福祉センター建設の実施計画を策定予定とのことであるが、計画の中に重症心身障害児が医療的ケアを受けられる施設を設置してもらえないか、伺いたい。

◎福祉推進部長 障害者サポート機能の設置については、児童発達支援事業所の愛育園と地域活動支援センターを予

議会改革に関する調査特別委員会中間報告

宜野湾市議会では、平成二十六年六月定例会最終日に、上地安之特別委員長が、これまで調査、検討した経過及び結論を得た事項について、中間報告を行いました。

【中間報告(要旨)】

一、委員会の設置目的及び調査、検討の経過

平成二十四年十二月二十日の本会議において、議会機能の強化を図るとともに、市民へ開かれた議会を目指すことを目的とし、議会基本条例の策定及び議会改革に必要な事項について調査、検討を行う「議会改革に関する調査特別委員会」を設置しております。

本委員会では、調査、検討を始めるに当たり、各会派から意見集約を行い、①政務活動費について、②費用弁償について、③議員定数の適正化について、④議会基本条例について、⑤本会議の映像配信等について、以上五項目を優先的に協議していくことを決定し、平成二十六年六月十七日までに委員会を三十回、内外への先進地視察、全員協

議会を開催し、鋭意かつ慎重に調査、検討を重ねてまいりました。

二、調査検討の概要及び結果

(一) 政務活動費について

学識経験者及び市内各団体の委員により構成される特別職報酬等審議会が設置され、審議が行われました。

二回の審議を経て、四月十八日付で答申が出された後、今定例会において、月額一万円から二万円に増額する改正条例案及び一般会計補正予算が市長部局より提案され、改正条例案については六月十日の本会議において全会一致で可決されております。

(二) 費用弁償について

近隣市の支給状況等を勘案して協議した結果、廃止すべきとの意見も出されましたが、現状維持すべきとの意見が多数を占め、本委員会としては現状維持することに決定しております。

(三) 議員定数の適正化について

県内他市の議員定数及び議員一人当たりの人口数、将来

人口の推計、議員一人当たりの年間経費額等の資料を参考に比較検証し、さらに県外先進地の状況も踏まえた上で慎重に協議を行いました。

平成二十五年十二月定例会において、議員定数二十八人から二十六人にする改正条例案の提案がなされ、賛成多数で可決されており、次の一般選挙より施行されます。

(四) 議会基本条例について

前文については、最も重要であるとの認識から、各会派で意見を集約し、複数案の内容を慎重に精査した上で、素案を作成しました。

また、本市の歴史的な考証を踏まえるため、文化課長の参考意見聴取を行い、議会基本条例の前文、目的及び基本理念を取りまとめしております。

なお、条文(案)の作成に当たって、本市議会が目指す「市民に開かれ信頼される議会」を実現していく上で、市民等との意見交換会の実施は必須の手続との認識でありま

す。

今後、学識経験者への参考意見の聴取等を考慮した場合は、今期任期中に実施することは日程的に非常に困難な状況となっており、本委員会では章

の構成までを委員会の案として作成し、議会基本条例の制定に向けては、本委員会が決定した内容を継承し、今後も継続して取り組んで進めてもらうよう次期改選後の新議会へ申し送りすることに決定しております。

(五) 映像配信等について

県内各市の実態調査を行った結果、設置費用や映像配信に関する取り決め事項等の検討すべき課題もあり、今後も引き続き調査検討することになっております。



全議員への事前説明会(5月26日開催)

第383回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第33号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第34号	宜野湾市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第35号	宜野湾市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第36号	宜野湾市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第37号	宜野湾市立学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第38号	市道の認定について	原案可決(全会一致)
議案第39号	市道の廃止について	原案可決(全会一致)
議案第40号	教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
議案第41号	教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
議案第42号	宜野湾市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第43号	宜野湾市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決(全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申可決(全会一致)
報告第4号	平成25年度宜野湾市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第5号	平成25年度宜野湾市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第6号	平成25年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第7号	平成25年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第8号	平成25年度宜野湾市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第9号	平成26年度宜野湾市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画について	報告
報告第10号	平成25年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業報告及び決算報告について	報告
報告第11号	平成26年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業計画及び収支予算について	報告
陳情第62号	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望	採 択(全会一致)
陳情第65号	普天間高等学校のキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区返還跡地への移転について	採 択(全会一致)
陳情第66号	公共工事における県内企業の下請優先活用について	閉会中の継続審査
陳情第67号	耐震診断費用の自己負担軽減について	閉会中の継続審査
陳情第68号	徒歩による津波避難ルートの追加について	閉会中の継続審査
	選挙管理委員会委員の選挙について	選 挙
	選挙管理委員会委員補充員の選挙について	選 挙
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情 陳情第55号 米軍普天間基地に関する要請 陳情第64号 船員税制(住民税)の減免に関する申し入れについて 陳情第68号 徒歩による津波避難ルートの追加について	承 認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情 陳情第46号 地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書採択について 陳情第61号 組合製品採用についての要請 陳情第66号 公共工事における県内企業の下請優先活用について 陳情第67号 耐震診断費用の自己負担軽減について	承 認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情 陳情第51号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	承 認 (福祉教育常任委員会)

第382回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第28号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第29号	宜野湾市税条例に関する専決処分の承認について	承認(賛成多数)
議案第30号	宜野湾市国民健康保険税条例に関する専決処分の承認について	承認(賛成多数)
議案第31号	(仮称)伊利原老人福祉センター新築工事(建築)請負契約について	同意(全会一致)
議案第32号	固定資産評価員の選任について	同意(全会一致)
報告第3号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報告